



義歯洗浄剤
ピカ

義歯や口腔内装置^{※1}のお手入れに

ピカ

2剤式だからこそ、

義歯を傷めにくく、

さまざまな汚れに特化した

洗浄が可能

カンジダ菌を
溶菌除去



漂白剤不使用

99.9%除菌^{※2}

※1 レジン等樹脂材料、ティッシュコンディショナー、コバルトクロム合金、金銀パラジウム合金、チタン合金、ステンレス素材を確認。
ティッシュコンディショナーを用いた義歯・口腔内装置への赤ピカのご使用はお控え下さい。

※2 カンジダ菌、ミュータンス菌に対する除菌試験結果(全ての菌を除菌するわけではありません)。

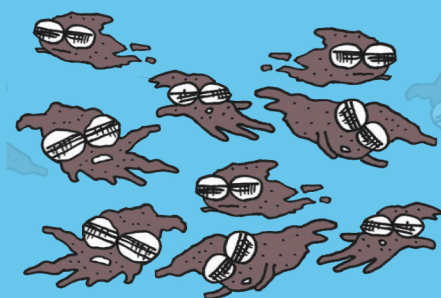
カンジダ菌を溶菌除去できるピカ

「退治した死菌を取り去ってこそ確かな洗浄」をコンセプトに開発された「ピカ」の大きな特長は除菌や殺菌では対処できない真菌性口内炎などの原因となるカンジダ菌の「溶菌」作用があることです。

ピカ

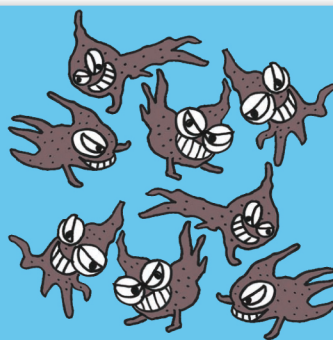
溶菌除去

菌を溶かして殺すこと。
死菌が対象物に残存せずに菌を除去できます。
ピカは溶菌除去ができます。



殺菌

菌を殺すこと。
死菌が対象物に残存する可能性があり、その死菌は真菌性口内炎の原因になります。



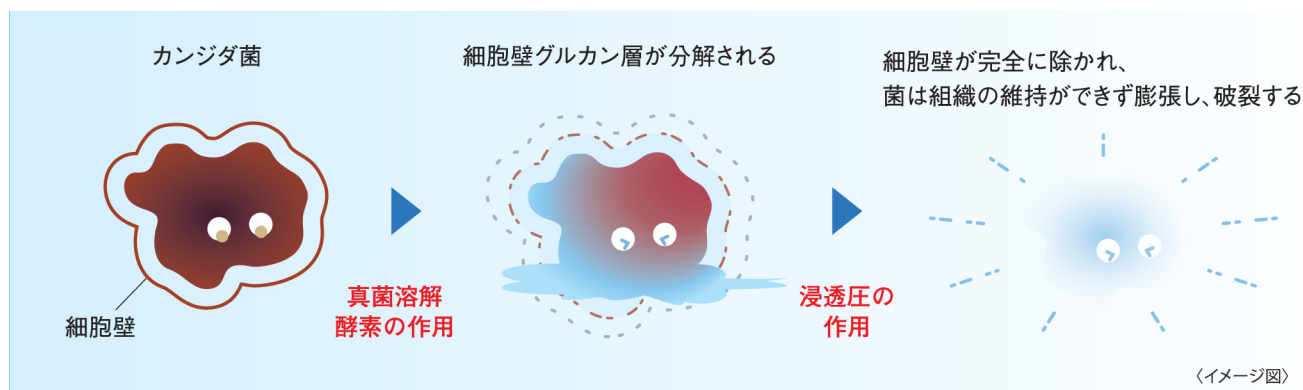
除菌

菌を対象物から取り除くこと。
菌を殺して取り除いているとは限りません。

〈イメージ図〉

カンジダ菌の溶菌過程模式図

真菌溶解酵素によってカンジダ菌の細胞壁グルカンが分解され、浸透圧により菌が溶菌します。



〈イメージ図〉

さまざまな汚れに特化した2剤式



ココに特化!

プラークなどタンパク質由来の汚れ
カンジダ菌、その他細菌、臭い

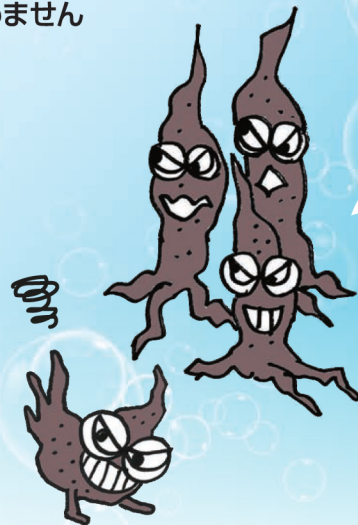
- 酵素の力でタンパク質を分解
- カンジダ菌を溶菌除去
- 毎日使用しても義歯を傷めません



ココに特化!

ステイン、ヤニなど着色性の汚れ

- 漂白剤不使用
- 活性酸素で汚れを除去



Q どんな材料に使用できますか？

約1ヶ月にわたり各種試験体を次の通り浸漬した/赤ピカ溶液・青ピカ溶液・水道水に8時間浸漬⇒洗い流し、水道水に16時間浸漬。○の付いている製品については、目視の結果いずれも変化はほとんど認められなかった。

	青ピカ	赤ピカ
レジン等樹脂材料※1	○	○
ティッシュコンディショナー	○※2	×
コバルトクロム合金	○	○
金銀パラジウム合金	○	○
チタン合金	○	○
ステンレス	○	○

※1 義歯床用レジン、ノンメタルクラスプデンチャー用樹脂(熱可塑性アクリルレジン、ポリアミド樹脂、ポリカーボネート樹脂)を指す

※2 面荒れを防ぐため、発泡が終わってからの使用をおすすめします

● 各材料メーカーで義歯洗浄剤を推奨されている場合は、メーカーの指示に従ってお使いください。資料提供：広島大学 二川 浩樹 教授

包装

ピカ 1箱

【内容】

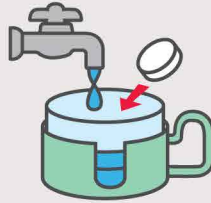
青色包装28錠、赤色包装4包
★患者さま用説明書



使用方法

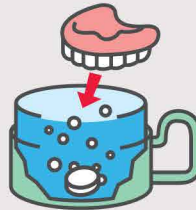
1

コップに水(ぬるま湯)を入れてピカを1袋入れます



2

①に義歯を入れます。
青ピカは、液の色が無色になるまで待ちます。(約1時間)
※一晩おくといっそうきれいになります。



3

洗浄後は水で良くすすいでください。



食後のお手入れに ピカ 泡クール 150mL

義歯用泡ハミガキ



使用方法

1

ポンプの青いストッパーを外し適量を義歯に出します。
(目安：総義歯でポンプ2押し分)



2

片面60秒を目安に全体をブラシで磨いてください。



就寝前
ピカ



毎食後
ピカ泡クール



ピカとあわせて
お使いいただくことを
おすすめします。

サポートツールのご案内

無料でご用意いたしますのでご入用の際はお出入りの
歯科商社さまへお申し出ください。

義歯の正しい使い方や
お手入れ方法が
学べる1冊です



義歯の豆知識

- 義歯のお手入れ方法
- 義歯装着 / 定期健診の動機付け
- 食事 / 発声のトレーニング など

サンプル付きリーフレット(青ピカ・赤ピカ 各1個付)

ご使用の際は説明書等をよく読んでお使いください。

取扱い店

発売元

ロート製薬株式会社 大阪市生野区巽西1-8-1

販売元



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

●本社：〒605-0983京都市東山区福福上高松町11 お客様サポート窓口(075)778-5482 受付時間8:30~12:00 12:45~17:00(土日祝除く) www.shofu.co.jp

●支社：東京(03)3832-4366 ●営業所：札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/京都(075)757-6968/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595

2307JCSI-I01